

syMRI NEURO使用経験及び運用方法の検討

【実施目的】

用途が明確化されていないsyMRI NEUROに関して現状把握と運用方法を確立する。syMRI NEUROは頭部の主に脱髄疾患に対して有益な結果がすでに出ています。その他の神経疾患に対して有益な結果が出れば、神経疾患を取り扱っている当院において有用であるためこれを調査することが目的です。

【syMRI NEUROとは】

syMRI NEUROはMRI装置で1回スキャン(4分程度)を行い、得られたデータを再構築してT1、T2、FLAIRなどのコントラスト画像とミエリンマップ、R1、R2などの定量画像を作成できるアプリケーションです。

コントラスト画像を短時間で得られること。定量評価により、画像所見では評価困難な微細な変化を得られる可能性があります。

【研究の方法及び期間】

実施場所:放射線科 MRI検査室

期間:装置導入時の令和1年9月27日～臨床研究倫理審査承認日

方法:形態画像による視覚評価、定量画像による評価。

【研究代表者】

独立行政法人 国立病院機構 医王病院 放射線科 撮影透視主任 坂田 貴紀

【個人情報及びプライバシーの保護】

使用するデータは匿名化を行い、個人を特定できないような取り扱いを徹底いたします。研究が実施または継続されることについて、対象者等が拒否できる機会を保障いたします。

また、この研究結果は個人が特定できないデータとして、学術的な場で公表します。

【お問い合わせ】

本研究に当たるお問い合わせは下記へお願いいたします

医王病院 放射線科 坂田 貴紀